

Q5

理解を深めよう もう一問!

日本のジェンダーギャップ指数は、世界で何位？

2021年3月30日に世界経済フォーラムが発表した、ジェンダーギャップ指数（男女平等ランキング）の日本の総合順位は156ヶ国中120位です。政治の分野では147位、経済の分野では117位、教育の分野では92位、健康の分野では65位に位置しているそうです。



総合的には先進国7カ国（G7）の中では、最下位になるそうです。

近年、日本の女性たちは様々な場面で活躍をするようになってきましたが、依然として、自治会長は大半が男性であったり、企業などの管理職や役員は男性が多くを占めています。2020年発足の内閣では、首相以外の官僚20人の中で女性は2人だけです。世界に目を向けますと、ドイツやニュージーランドでは女性が首相を務めていますし、ルワンダのように国会議員80人中49人が女性という国もあります。「重要な役割は男性の方が適しているから、日本は日本のやり方でいいのでは」という考えが今でもあるようですが、それが日本の女性の活躍が進んでいかない理由の一つかもしれません。



SDGsは5番目の項目に「ジェンダー平等を実現しよう」というものがあり、他の項目についてもジェンダーに関する課題があります。ジェンダーについての正確な理解が不可欠と考えられています。